

A board game for 3 players by Néstor Romeral Andrés

## 概要

レッド(Red)は3色のタイルを配置する3人用のゲームです。このゲームでの3色は黒、白、赤で、各プレイヤーは異なる色を受け持ちます。それぞれのタイルは異なる色の背景と円が描かれています。

プレイヤーはテーブル上にタイルを配置し、自分の色の背景のタイルを繋げたグループと、自分の色の円のタイルを繋げたグループを作ることを目指します。

## 用具

- 30枚の小さな正方形タイル（6種類各5枚）

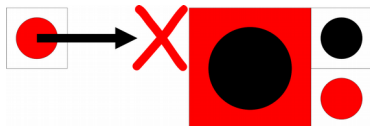


- 6枚の大きな正方形タイル（6種類各1枚）
- カウンター各色1個

## 遊び方

タイルをすべて表向きにし、種類ごとに分けて重ねてから共通の場に置きます。任意の方法で各プレイヤーの色を決め、それを示すために、自分の色のカウンターを自分の前に置きます。プレイヤーの手番は白、黒、赤、の順です。プレイヤーは手番に、以下のルールに従って、共通の場から自由に1枚のタイルを選んで配置します。

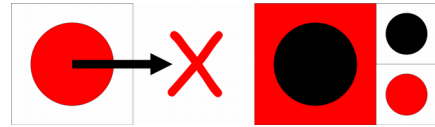
- タイルは、仮想の正方グリッドからずれないように配置しなければなりません。
- 白プレイヤーは初手で大きな正方形タイルを置けません。
- 以降は、少なくとも1辺が小さなタイルに接するように配置しなければなりません（プレイヤーはこのルールを忘れがちです）。角だけ接するのでは十分ではありません。



禁止手の例。

新たに配置するタイルは少なくとも1枚の小さなタイルに隣接しなければなりません。

- 大きなタイルは既に配置された大きなタイルと辺で接してはいけません（つまり、角で接する以外では、2枚の大きなタイルは接してはいけません）。



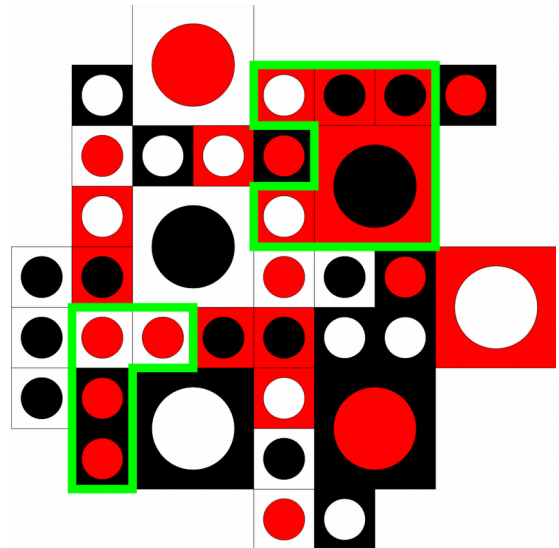
禁じられた配置の例

新たな大きなタイルは既に配置された大きなタイルと辺で接することはできません。

ルールに従って配置することができなくなったら、ゲーム終了です。

## 得点

小さなタイルは1点、大きなタイルは2点と数えます。プレイヤーの色の背景色のタイルが繋がったグループと、円のタイルが繋がったグループのうち、それぞれ最も点数の高いグループの点数を数え、それら2つの点数の積がプレイヤーの得点です。



例：赤の背景色は5枚のタイルが繋がっていて、うち1枚の大きいタイルは小さなタイル2枚分です。

赤の円は4枚が繋がっています。

赤の得点は $6 \times 4 = 24$ 点です。

（白は $9 \times 4 = 36$ 点、黒は $6 \times 8 = 48$ 点です）

最も高得点のプレイヤーが勝利します。もし2人のプレイヤーが同点ならば、3番目のプレイヤーが勝利します。もし3人が同点ならば、もう一度遊みましょう！

## 2人用バリエーション

すべてのタイルを使いますが、2色だけがプレイヤーの色です。3色目は相手プレイヤーを妨害するために使えます。可能である限り、相手がプレイしたタイルと異なる種類のタイル（色の組み合わせか大きさが異なれば良い）をプレイしなければなりません。